

# 新年のごあいさつ



三重県中小企業団体中央会  
会長  
**三林 憲忠**



三重県知事  
**鈴木 英敬**

新しい年を迎え、謹んで新春のご挨拶を申しあげます。

さて、昨年初めから突如として世界中で感染拡大した新型コロナウイルス感染症の影響により、わが国経済においても、経済活動の抑制や個人消費の低下によって経済悪化を余儀なくされ、終息も未だ見えず、先行き不透明な状況となっています。

このような厳しい経営環境下において、社会経済活動と感染拡大防止対策の両立が求められている中、地域の経済・雇用を支える中小企業・小規模事業者も、その担い手として、持続的な成長に向けて経営基盤を強化し、近年急速に普及しているリモート化、デジタルトランスフォーメーションによる産業構造やビジネスモデルの変化等に適応した新たな働き方の実施などを通じて、更なる生産性の向上に取り組むことが求められています。そのためには、個々の取り組みだけではなく、組織の力を最大限に活用し、直面する様々な課題を克服するために、組合等の連携組織の果たす役割は一層重要なものとなってきております。

三重県では、新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた様々な支援策が積極的に推進される中で、令和2年3月に「三重県中小企業・小規模企業振興条例」が改正され、平成30年11月策定の「みえ産業振興ビジョン」と共に、若者等の就職・定着促進、働き方改革の推進、情報通信技術の活用など新たな経済・社会構造にも柔軟に対応できるための施策が示されています。

中央会といたしましても、国・県当局の施策と協働し、中小企業連携組織の専門支援機関としての役割を最大限に發揮しながら、会員並びに中小企業・小規模事業者の皆様の多様なニーズに応えるため、時世に即した支援事業を実施し、中小企業連携組織を通じた支援事業活動を堅実に展開し、皆様が経済活力の源泉として充分に力を発揮できますよう環境整備に全力で取り組んでまいりますので、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

本年が、皆様方のご繁栄とご健勝、そして希望に満ちた飛躍の年になりますよう心より祈念申しあげまして、新年のあいさつといたします。

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、県内経済や雇用情勢は厳しい環境におかれましたが、一方で、大都市部への過度な一極集中のリスクが顕在化し、地方創生に係る取組に期待が高まるなど「新たな日常」に対応する動きが活発化しました。県では、このような情勢に的確に対応するため、県民の皆さんとの命と健康を守り抜き、暮らしと経済の再生・活性化を図る「命」と「経済」の両立をめざすみえモデル」として、経済の再活性化から始まる、三重県らしい、多様で、包容力のある持続可能な社会の実現に向け取り組んでいるところです。三重県中小企業団体中央会におかれましては、組合の連携組織を通じて、感染拡大防止の対策を迅速に整えていただきたいほか、三重県経営向上支援新型コロナ危機対応補助金の「飲食店向け感染防止対策型」では、スタッフ一丸となってご協力いただき、深く感謝いたします。

本年は、伊勢志摩サミットの開催から5年の節目を迎えます。この記念すべき年に、太平洋島しょ首脳が三重の地で一堂に会する「第9回太平洋・島サミット」、さらには、東京2020オリンピック・パラリンピックの熱気と感動をつなぐ「三重とこわか国体」・「三重とこわか大会」が開催されます。県におきましても、こうした本県の知名度をさらに高めるチャンスを生かし、選ばれる三重県となるようしっかりと取り組んでまいりますので、皆様の変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

今後、本県が継続的に発展していくためには、中小企業・小規模事業者の皆様が連携して、新型コロナウイルス感染症との共存が求められる「新たな日常」に的確に対応していただくことが重要であり、三重県中小企業団体中央会が果たされる役割に大いに期待しているところです。

結びに、皆様のますますのご発展とご多幸を心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。